

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
・理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
・サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。

また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名 (ユニット名)	ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ すみれ
所在地 (県・市町村名)	鹿児島県始良郡蒲生町下久徳1251番地
記入者名 (管理者)	すみれ主任 徳永 俊江
記入日	平成 20 年 7 月 1 日

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ
 地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	日々の生活の中で地域でかかわるように支援をし、関係が保てるように理念を作っています。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日頃から理念の中に、安心して自分らしく暮らせるように、個々の入所者様のケアについて、職員がミーティング等で確認しあうようにしています。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	玄関に大きく掲示しており、入居時の契約の時には、必ず理念の説明をし、グループホームへの理解をしていただけるよう努めています。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地区の行事(ゲートボール大会、運動会、あじさいサロン)への参加を積極的に出席し、又施設の行事があるときなどは、回覧板や、近隣の方に知らせ気軽に来て頂けるようにしています。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の総会や、地区で行われる催(サロン、蒲生市)、地区の運動会・グランドゴルフ等の地域活動にも参加しています。		地区の行事やサロン等への地域中宝の声掛けもあり、今後も参加し地域交流に努めたい。

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域で行われている高齢者の勉強会への出席をして、認知症への理解を深めている。また、地域の学校のボランティア実習の受け入れをしています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全員で行い、ミーティングで報告し、改善に向けて具体案や検討しています。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回の運営推進会議で取り上げられた事項について、その経過を報告。メンバーからの質問意見について話し合い回答をし、改善に向けて検討しています。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の職員には、折にふれ事業所での困り事や改善・サービスなどの取り組みを相談しています。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護が必要な方については、役場や包括支援センターなどに相談支援に努めた。他の利用者や家族については、まだその必要性がなかったため、具体的な情報提供等は行っていません。		利用者や家族について、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業について、対応が必要な場合、随時説明やアドバイスを行いながら支援に努めたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	十分努めている。虐待はあってはならないことと職員全員認識しています。		

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時の契約の時は、施設管理者による説明をし、ご家族がご理解できるように丁寧に説明をしています。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日常会話の中に、なんでも話せるような雰囲気を作るように努めている。ご家族の意見や要望はすぐ介護の現場に反映が出来るようにしている。外部への機会は運営推進会議を通じて、入所者代表、家族代表と言う形で、地域の会議のメンバーと話し合われています。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会のできるご家族には、日常の状態報告、他の面会者の有無などを知らせている。遠方のご家族に対してはケアプラン更新時に電話等で暮らしぶりや様子を知らせたり、二か月に一回の便りを出し、金銭出納簿については、毎月の控えをご家族に送付しています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族には電話手紙、面会時等は積極的に問い掛けなどをし、何でも話していただけるように声掛けをし、出された意見、要望などは、職員のミーティングで話し合い反映させるようにしています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎朝の申し送り時や、ミーティング時、1ヶ月に一度のグループホーム会議、ケア会議の時など、十分に意見の交流が図れケアに反映できるように努めています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者様の状態変化などは状況に応じて必要な人員が確保できるように、職員間で話し合いを持ちシフト調整をし対応しています。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者様と職員の馴染みの関係作りには、日ごろから努力しており移動や離職がやむを得ない場合も、なるべく利用者様、ご家族には、迷惑がかからないように、コミュニケーションを図るように努めました。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくを進めている	事業所外で開催される研修にはなるべく多くの職員が参加できるように声掛けを行っている。またミーティングや回覧などで発表できるように機会を作っている。また、資格取得に向けた支援に努めています。	
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の事業所と交流の機会を持ち、日々のサービスや疑問点などの相談。GH連絡協議会の研修会への参加、事例検討を通してサービスの質の向上に努めています。	
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ケアや同じケア感について一人で悩まないように、日常的に職員の疲労やストレスについて聞いたり話しあったりする機会を作っています。	
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の健康状態や、疲労などへの配慮をし勤務条件などの意見も取り入れたりしている。向上心を持って意欲的に働けるように支援しています。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の事前調査の時、ご自宅、入院先等を管理者・ケアマネージャーで訪問しご本人様のグループホームにおける不安、心配事や相談をお聞きして安心して入所できるように、お話をさせていただいています。	精神的な不安定の為、歩行困難になっておられた入所希望の方を、入院先に面会に行き、ご本人様の相談をお聞きし、安心されて入所されました。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居申し込みの時、家族は何が一番困っているのか、今後如何したいのかを明確にし、ご本人様が望んでおられるかをお聞きし、相談を受け止めるように努力しています。	

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所申し込みに来られたご家族に対し、今の精神的・身体的状況を把握し、今、何がご本人にとって必要な事かを見極めて、他施設や病院などの紹介を出来るように努めています。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用にあたっては、本人様が判断できない場合、ご家族に来て頂き、スタッフの状況、ホームの雰囲気をを見ていただき、十分に納得した上で利用していただけるように配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人様の思いや苦しみ、不安や、喜び等を知ること努め、悩みなどを良く聴くようにし、お互いに共感できる話題作りなどで支えあう関係づくりに努めています。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	今の状況や、今後のケアについての相談や意見交換を常にご家族と一緒にいき、ともに支え合う関係づくりに努力をしています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	遠方のご家族や面会に来られないご家族には、たんぼぼ便りに近況を添えて投函し、または行事の案内を通して、より良い関係が出来るように支援しています。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人知人の面会も快く受け入れている。又、レクリエーションとして自宅周りや、神社、寺などにドライブに行きご自分の馴染みを忘れないように支援しています。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	チームで出来るレクリエーションを取り入れたたり、個別ではなく皆で出来る事をしている。また、日常的にいつも話せる雰囲気を作り、穏やかに過ごせるように努力しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院をした方などには、面会に行き近況の情報交換や今後についての相談などをご家族とし関係の構築をしています。		いつも寂しいと口癖のように言われていた入所者様が骨折で入院退所され、その方の心情を思い交替で面会にいき励ましました。また今後についてのご家族からの相談に対し、他施設の入所申込等のアドバイスをしました。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の関わりの中で、何をしたいか、どのように暮らしたいかをお聞きし、本人様が表現しにくい時はご家族と相談しています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々のケアの会話の中で、今までの生活歴などをお聞きしたり、ご家族や親せき、知人の面会の折、お話を伺えるように努めています。		個別の悩みがあるとき、自室で静かに伺えるようにしています。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの身体状態をバイタル測定をし、一日の過ごし方や、心身状態の変化は記録に残し、職員で共有しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族の意見や意向をお聞きしたり、アセスメントやモニタリングに関しても職員全員で意見交換や日々の関わりの中から、その方に合わせた介護計画を作成するように努めています。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は6カ月おきに見直しを行い、ご本人やご家族の要望に沿えるように作成、状態が変化した場合には、終了前であっても検討見直しをしています。		

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の利用者様とのケアの中でADLの状態の変化や心的な気づきを、介護記録に残しきめこま細かくケアプランに反映させています。		急変時や入退院時にはその時々に応じケアプランの見直しをしています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族の要望に応じて、重度化した場合や終末期の入院の回避など、医療連携(主治医に相談)を生かし臨機応変に対応するように努めています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	施設の行事(誕生会、ひな祭り)などには、地域のボランティアによる催物や中学生の福祉ボランティアの受け入れを通し交流を図っています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	定期的な地域でのケアマネージャー会議に出席し情報交換をしている。又、入所時には、施設や、病院のケアマネージャーさんとご本人様に必要なケア等を十分に話し合いを持っています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	事業所で解決できない問題や、成年後見人制度の利用についての相談をし協働しています。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様やご家族の希望する掛かりつけ医の定期的な受診の継続や家族の同行不可能時や緊急性のある場合は、職員が代行するようしており、ご家族には受診報告なども行っています。		

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	各利用者様の主治医へ状態の報告をし、変化時には、主治医から専門医の紹介を頂き診察を受けられるように支援しています。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	施設に看護師が常勤しており常に、入所者様の状態を見て変化時には、相談が出来、各主治医との連携を図り支援しています。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	常に、バイタル測定をし、状態が悪化しないように主治医に状態報告をし連携を図っています。又、入院時には、本人様の継続介護連絡表を提供し医療機関との連携をしています。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対しては、入所時に看取りの説明を行い、ご本人やご家族の意向など、繰り返し話し合ったり、主治医との連携の上、十分納得がいかれるように説明し対応できるようにしています。又状態の変化時は速めの情報交換を行っています。		重度化や終末期のあり方、看取りについては非常に大事な事であり、ご家族の意向など、全職員が把握できるように努力し、主治医との連携はもとより、十分納得が出来る状態で支援できるように努めていきたい。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者様の看取りについての指針に沿って介護をしています。ご本人様の意志があるときは伺えますが、主治医、ご家族との話し合いを常に行いながら、職員一人ひとりがチームの一員として、取り組んでいます。		看取りの段階となり、ご家族、主治医との連絡、話し合いを度重ね、本人様の代弁者となりより良い終末が迎えられるように配慮をしました。又ご家族、主治医との話し合いの記録は、行き違いがないようにその都度渡し確認をしました。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供の提出により本人様の個別情報、習慣など住み替えに必要な情報を他の事業所へ提供し、スムーズに住み替えが出来るように努力しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		<p>日々の関わりの中で利用者様の気になる点や暴言、状態変化で職員が苦慮する場面もあるが、プライバシーや個人情報の取り扱いには、一人一人に気遣いながら対応しています。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		<p>小さな行動についても本人の意志を確認し納得して暮らして頂いています。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		<p>基本的な一日の流れの中で、利用者様の状態や体調に配慮しながら対応しています。</p> <p>誕生会は2ヶ月に1回、全体で行っているが、ユニットの中で利用者様個人の誕生日にその方だけの誕生会を祝って上げられるようにしたい。</p>
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		<p>馴染みの美容室にいけるようにご家族と連絡を取り合い、本人様の希望を取り入れている。又、施設で行う時は、髪形や長さなど希望をお聞き取り入れています。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>メニューは一応併設施設より提供されているが、たまにはメニューにとらわれず変更したりしている。食材の下ごしらえなどできることは利用者様に手伝いをしていただきながら準備をしています。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>本人の好きな焼酎や好物など、体調に考慮しながら楽しんで頂いています。</p>

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	本人様の意志を尊重し、一人一人の状況にあわせ気持ちよく排泄できるように支援しています。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については、本人様の意向に合わせてたり、拒まれる方に対しては、持ち前の温泉源を利用したこと施設である事をアピールしたり、気のあったスタッフが声を掛け、1対1の対応とチームプレーで支援や利用者の希望を確認し入って頂いています。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	体調などその時の状況に応じ日中の活動量を増やし、夜間良眠できるように支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご自分の役割を上手に分けられる方、全く興味を示されない方、それぞれの持分をスタッフは共有し声掛けを行っています。		スタッフの声掛けに意欲的な表情を見せられない方にも、もっと張り合いのある生活の支援ができるように努力と工夫をして行きたい。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	地域の行事や、外出時の買い物、飲食費を自分の財布から支払いをされて楽しまれておられます。		地域の行事(蒲生市、初詣)など催のある時は芸能を見たり縁日で買い物をされたり、地域との交流を図り楽しまれておられました。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	玄関先の花壇を眺めながら外気浴していただいたり、車椅子での散歩の声掛けや、ご家族へ外出の機会を確保していただけるように声掛けをし支援しています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人様の希望やおもいをお聞きして、墓参りや馴染みの所への訪問は家族と相談して行けるように支援をしています。遠方におられる家族の方には、電話連絡時等、本人の要望をお伝えし次回の面会時の楽しみとしていただいています。		家族が遠方で一年に一度しか面会できないご家族に対して、本人様の行きたいところや、食べたいもの等をお聞きしておき、面会時には、迷わず希望の所へ行けるように福祉タクシーの手配などの支援をしました。

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様の希望により、自由に使用していただいている。又使用が困難な利用者様には、家族への連絡をし通話できるように支援をしています。		2か月に一度たんぼぼ便りをご家族へ送り、利用者様の手紙を入れたり、近況や伝えたいことなど代筆し支援しています。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会はいつも、大歓迎でしていただいている。面会時は自室、リビング、ご家族、本人様の要望に応じお茶をしていただいています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は決してしてはいけない行為とし、職員全員の認識として取り組んでいます。定期的に身体拘束廃止についての冊子を回覧しています。		自傷行為がある利用者様のご家族の要望で自傷行為をさせないように身体拘束をして欲しいと言われましたが、はっきりお断りしどうして自傷するのか、本人の心に沿ったケアに取り組んでいます。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者様が外へ出て行かれる雰囲気とその行動や言動から、職員間でその情報を共有し見守りや連係プレーを図りながら、さりげなく一緒について行ったり自由な生活が出来るように支援しています。		利用者様の雰囲気など職員間でその情報をいつも共有し外出の癖や傾向を把握し、見守りや声掛けを行っていく。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は、日勤者が危険がないように見守り支援をしています。夜間帯は本人様の意向に従い居室のドアを閉めています。ドアを開けるように希望されている方はそのように対応しています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	男性の入所者様の髭剃りなどの刃物については、入浴時使用していただくようにし、日常は電気剃刀を使用しています。又、洗剤や薬品などは手の届かないような所に置き、下におく場合は施錠をして危険防止に努めています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者様の状況に応じ、見守り援助を行っているが、緊急時あわてる事がないように、緊急時マニュアルを作成し、職員全員が対応できるように話合いや勉強会をして取り組んでいます。		

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	様々な応急手当の方法があり全員が、基礎からできるように話し合い実技を看護師より指導して頂いています。又消防署の指導により応急手当の講習をしていただき職員全員が受講しています。		運営推進会議の一環として心肺蘇生の応急手当の講習をして頂き職員が、実践練習をさせていただきました。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力をえて、避難訓練、消火器の取り扱いを行い、地域の協力体制については、運営推進会議で協力を呼びかけています。		利用者様も重度化してきたり認知的な面でハードであり、常に安全を視野にいれ、全体訓練はしているが、個別的な訓練で利用者様で利用者様がどのような動きをされるのか、今後の課題として実施して行きたい。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族の面会時に、年齢、心身状況の変化などを見極め、今後起こりうる状況を話し合い、慌てる事がないように対応をしています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック・顔色・食浴・排泄の状況観察を行い、異常を発見した時は職員間で情報の共有をし、主治医とすぐ連携をはかっています。		早期発見をしDrとの連携を図っています。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	在総診ノートの記録により、状態が変化し、服薬が変わるときはDrの指示とともに記録に残し全職員が情報を共有できるようにしています。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェックを毎日つけ、記録しています。排泄が一定日にならない方は、きな粉牛乳の補給や、散歩など行っていますが、それでも排泄が見られない時は、主治医の指示に従って対応しています。		利用者様の中には、便秘が原因で発熱されたり、水分を取られようとする方がおられ、工夫を重ね、補水が出来るように取り組んでいます。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	夕食後必ず口腔ケアを行っている。ご自分で出来る方は本人様がされるが、出来ない方は職員が介助で行い毎日ポリデント洗浄をし支援しています。		

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し職員が共有しています。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	入所時の情報提供表や、看護サマリなどにより感染症の検査を済ませて入所されています。又ここで起こりうる感染症(インフルエンザ、ノロウイルス)等は入所者様には、ご家族の同意を頂き本人様の状況にあわせ予防接種を職員とも行っています。又感染症マニュアルを作り職員全員で共有をしました。		感染症の疑いがある利用者様には、他の方に拡散しないように予防の徹底を図った。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理前には、清潔なエプロンに替え手洗いをしています。食材は新鮮な物を使えるようにし早めに調整をし献立の変更などを行い使いきっています。食器や調理器具は使用後きれいに洗浄し乾燥を行い、台所は常に衛生的な状態で使用できるようにしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節の花を玄関先に植え、室内の清掃もきれいにし、いつでも気軽に訪問できるようにしています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールはいつも季節感を取り入れていただけるように季節の花を飾ったり、頻繁な配置換えなどなく、ゆっくりと落ち着いていただけるようにしています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングはゆっくりできる空間なので、自由に話せる椅子の配置や、食事の席も随時替え、見える風景も変わり新鮮な気持ちで変化を楽しまれておられます。		

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様の状況に応じ、写真を飾ったり、ご家族に相談をし、馴染みのものなどを持ち込んでいただいています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝は特に天窓、ベランダを開け、換気を行い空気の入れ換えをしています。体温調整が出来ない方も冷暖房の調整や扇風機の利用により快適に過ごして頂いています。		運営推進会議の意見で、当施設内の匂いがひどいと指摘があり調査検討しました。施設横に排水設備がありそこから匂いが入り換気が出来ていない為、匂いが充満したようでした。その後、職員一人一人が認識し換気を十分行い改善されました。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は完全なバリアフリーになっており、車椅子も自由に走行できるスペースが取ってある。手すりも随所にあり、利用者様が転倒や怪我が起こらないように努めています。		室内で車椅子の方たちが立位訓練や、歩行訓練が行えています。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	以前自分が習得していた事や好きな事などを生かし生活の中でいかしていただいています。精神的に不安定になられたときなど、家事などを思い出されておられます。		利用者様により掃除の好きな方、食器洗いが上手な方、洗濯物のたたみが上手な方など、ご自分の好きな事をされておられるときは、皆様生き生きとされておられます。体調などを考慮し楽しんでお手伝い頂けたらと思います。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	季節の花を植えたり、スロープなども設置されており屋外へすぐ出られるようになっており、野外活動や散歩もすぐできます。		

. サービスの成果に関する項目	
項 目	最も近い選択肢の左欄に をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の
	利用者の2/3くらいの
	利用者の1/3くらいの
	ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある
	数日に1回程度ある
	たまにある
	ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が
	利用者の2/3くらいが
	利用者の1/3くらいが
	ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が
	利用者の2/3くらいが
	利用者の1/3くらいが
	ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が
	利用者の2/3くらいが
	利用者の1/3くらいが
	ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が
	利用者の2/3くらいが
	利用者の1/3くらいが
	ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が
	利用者の2/3くらいが
	利用者の1/3くらいが
	ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と
	家族の2/3くらいと
	家族の1/3くらいと
	ほとんどできていない

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/>	数日に1回程度
		<input type="checkbox"/>	たまに
		<input type="checkbox"/>	ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	大いに増えている
		<input type="checkbox"/>	少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・入所者様の尊厳を大切にしています。・ご本人様の意向に沿ったケアをしています。・落ち着いて穏やかな時間を過ごせるように支援をしています。・優しさ、思いやりのある介護をします。